

基本目標 4 ともに健康で安心して暮らせる環境づくり

主要課題 1 生涯を通じた健康支援

現状と課題

男女が互いの身体的特徴を理解し合い、相手に対する思いやりを持つとともに、生涯にわたって健康で充実した生活を送ることは、男女共同参画社会の形成を図る上での前提と言えます。

女性は、妊娠や出産など、男性とは異なった身体の変化や病気の問題に直面する可能性があることから、人生の各段階に応じた健康に関する知識、情報の提供、相談支援などが必要です。また、男女がお互いの身体的特徴を十分に理解し、お互いの性を尊重することは、男女共同参画社会にとっても重要なことであるため、性に関する正しい知識の普及・啓発を進める必要があります。

施策の方向性

(1) 互いの性と生命の尊重と自己決定についての啓発と支援

健康教育や相談支援を通じて、妊娠から出産・育児にわたる健康支援を行うとともに、性教育の充実により性や命の大切さについて学ぶ機会の充実に努めます。

No.	具体的施策	内容	担当課	備考
1	出産、育児に関する健康教育の充実	「ようこそ赤ちゃん教室」などにおいて、妊娠や出産、育児に関する学習会を実施するとともに、男性の育児参加についても促進します。	健康課	
2	出産、育児に関する相談の充実	総合保健福祉センター「あすてらす」内での健康相談や、妊産婦・新生児訪問により、妊娠・出産・育児に関する相談の充実に努めます。	健康課	
3	性教育の充実	児童生徒が発達段階に応じて、性に関する正しい知識を身に付けることができるよう、学校における性教育の充実に努めます。 また、乳幼児とのふれあい体験等を通じて、児童生徒が命や子育ての大切さについて学ぶ機会の充実に努めます。	教務課 健康課	

(2) 生涯を通じた健康支援

男女の生涯を通じた健康を支援するため、それぞれの性別に応じた健康教育を行うとともに、誰もが相談しやすい環境づくりに努めます。

No.	具体的施策	内容	担当課	備考
1	性別に応じた健康づくりの啓発	生涯を通じた主体的な健康管理のために、男女それぞれの性別特有の疾病や健康上の問題について、受診率、健康診断結果などを参考にしながら、啓発や教育・指導を行います。	国保年金課 健康課	
2	健康相談の内容充実	総合保健福祉センター「あすてらす」での健康相談を通じて、性別、年齢を問わず、すべての人が気軽に相談できる環境づくりに努めます。	健康課	

主要課題2 高齢者・障がい者の社会参加への支援

現状と課題

全国的に高齢者人口が増える中、高齢になっても男女がともに健康で安心して暮らせる社会をつくるためには、男女の生活実態、意識、身体機能等の違いへの配慮など、男女共同参画の視点をもったきめ細やかな施策展開が求められます。

また、男女共同参画に関するさまざまな課題とあわせて、高齢であることや障がいがあることなどによって、複合的に困難な状況に置かれる場合もあることから、それらへの配慮も重要な視点として、誰もが安心して暮らせる環境整備を行っていくことが必要です。

小郡市ではこれまで、各個別計画に基づき、高齢者や障がい者への支援を行ってきましたが、今後とも男女共同参画の視点をもちながら、継続して高齢者や障がい者の生活及び社会参加への支援を行っていくことが重要です。

施策の方向性

(1) 高齢者・障がい者の生活に対する支援

男女共同参画の視点をもちながら、各分野の計画に基づいて各種サービスを提供し、高齢者や障がい者の生活及び社会参加を支援します。

No.	具体的施策	内容	担当課	備考
1	高齢者福祉施策の推進	高齢であることに加え性別によって複合的に困難な状況に置かれることがないよう、男女共同参画の視点を持ちながら、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき各種サービスを提供し、高齢者の生活や社会参加を支援します。	介護保険課	
2	障がい者福祉施策の推進	障がいがあることに加え性別によって複合的に困難な状況に置かれることがないよう、男女共同参画の視点を持ちながら、「障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」に基づき各種サービスを提供し、障がい者の生活や社会参加を支援します。	福祉課	